

ほとけ
ほっとけない

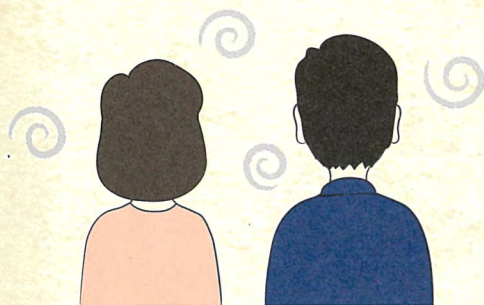
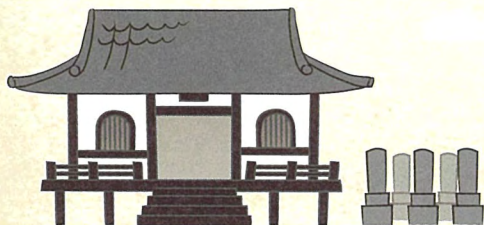


お
参
り
編

お参りって…?

さ

て今回は「お参り編」です。お参りと言うと、「お寺参り」「お墓参り」毎月お坊さんが家に来る「月参り」などなど、皆さんにはあまり楽しい話ではないかもしれませんね。楽しくもない話をするのはとても心苦しいのですが、私たちはこの「お参り」をととても大切なものだと思っています。それは、「お寺に来てもらう」「お寺とお付き合いする」ためではありません。その事を今回はお話できればと思います。



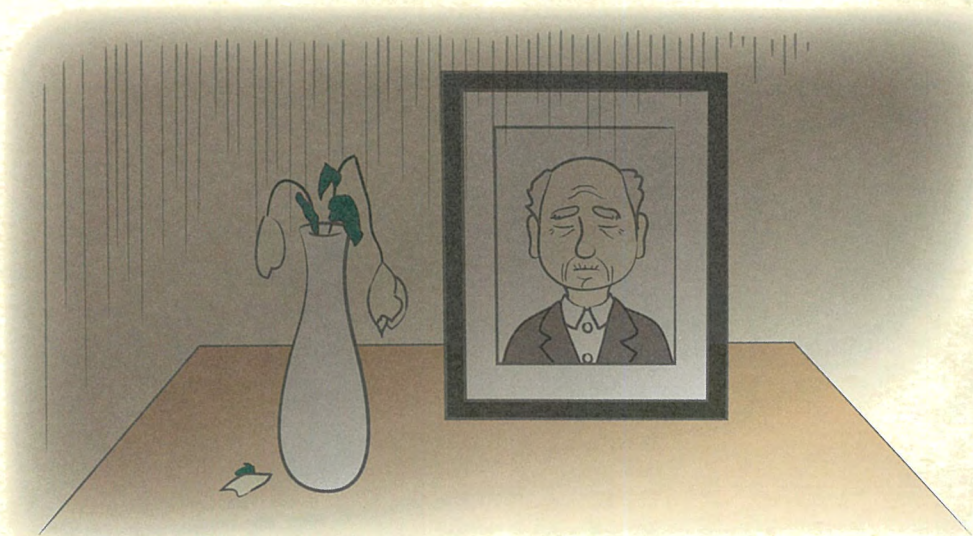
お参りって何のため?

ま

ず「何のためにお参りするの?」を考えてみたいのですが、それは亡き人を供養するために他なりません。じゃあ「供養って何?」となりますよね。それを考えるために、あまり考えたくはありませんが…、仮に自分が死んだとしましょう。その原因はともかく、残した人たちにあなたは何を望みますか?「立派なお葬式をあげてほしい…」「大きなお墓を建ててほしい…」それも大事かもしれませんが、それよりも「自分と過ごした時間を忘れないでほしい」と思いませんか?

喧

嘩をしたり、笑いあったり、時には一緒に涙を流したかけがえない時間、その時間こそが今死に行く自分を形作るもの、そして残される人々を形作るものに他なりません。せめてそれを共有した人たちにはそれを忘れないでほしい…そう思いませんか？私たちが旅立つとき、残していけるものはその思いだけです。しかし悲しいかな、人は忘れる生き物です。日々の暮らしに追われ、どんなに楽しかった思い出も、時間がたてば色褪せ、いつかは思い出せなくなっていくでしょう。言い換えれば「人は忘れられるもの」なのかもしれません。でもそれだけだとしたら人生はとても悲しいものですね。果たして「生きる」って事は悲しいことだけなのでしょうか？

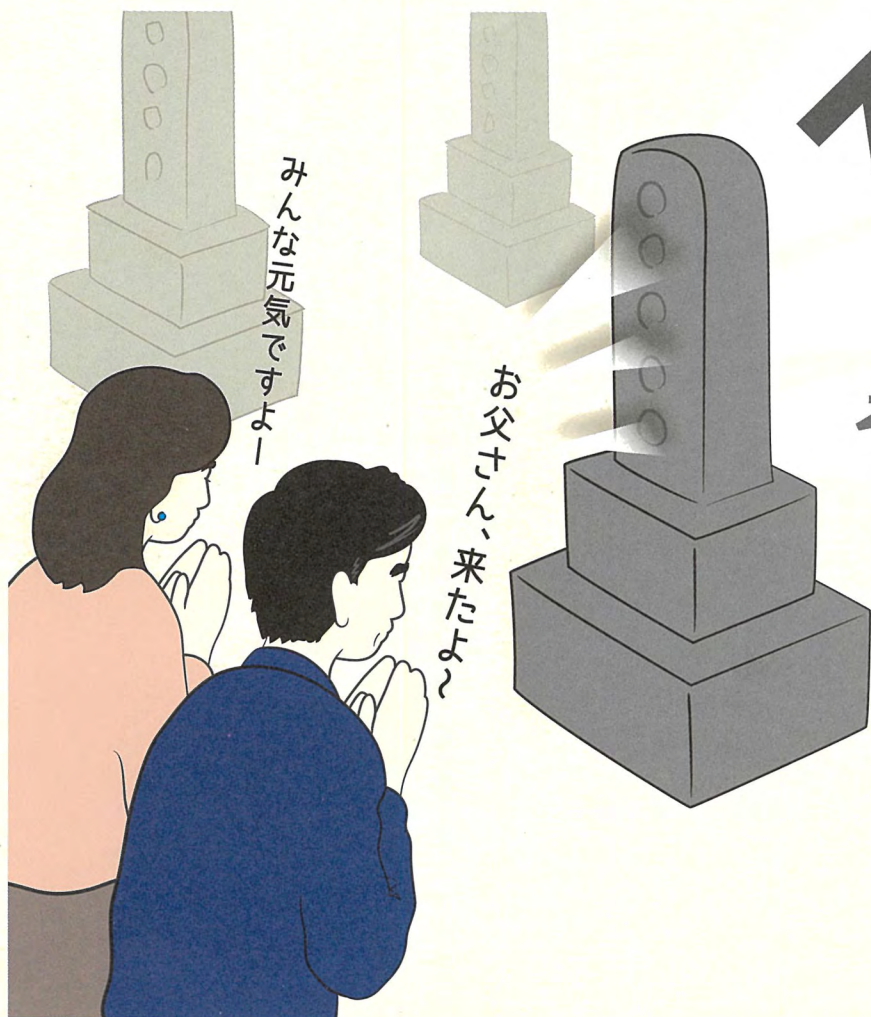


い

いえ違います。人生はとても素晴らしいものです。なぜなら、今あなたがそこにいること自体が、あなたを育ててきた過去の人たちがこの世に存在した証に他ならないからです。そのあなたがもしこの世の中を少しでも良くしたならば、それこそ、ご先祖さまや先に旅立ったあなたを愛してくれた人たちの存在を特別に意味があるものとするようになります。お寺やお墓にお参りに行くのはその事を思い出すためです。毎月お坊さんに家に来てもらうのは、その人たちにあなたの気持ちを伝えるためです。

話

が堅苦しくなっちゃいましたね。逆にそんな想いで毎回お参りすると疲れちゃうかもしれません。ご先祖様はあなたの家族。もっとフランクに考えてみてもいいじゃないでしょうか？ 今、巷では高額な料金を支払って筋トレやダイエットをするサービスが流行っています。いろいろなやり方があるそうですが、一番大事なことは「ほめて伸ばす」事だそうです。「がんばってるね！」「いいよ、いいよ！」とポジティブな言葉をかけるとその人はどんどん頑張れると言う理論だそうです。



みんな元気ですよー

お父さん、来たよ〜

下下

さす

その調

むむ!

ネ!

が!

子!!



お

経の中に説かれている話によりますと、先に旅立った大切な人たちは阿弥陀様に迎えられ極楽というお浄土の蓮の蕾の中で修行されているそうです。ちょっと乱暴かもしれませんが こう考えてみてはどうでしょう? 今を生きるあなたが、お寺やお墓、お仏壇の前で、その人のことを思いながら、「いいよ、いいよ!」と言う気持ちで手を合わすとその人たちは（まさか本当に筋骨隆々、ゴージャスな体となるわけではないでしょうが…）どんどん修行が進んでいく。なーんて考えると、お参りがちょっと楽しくなるかもしれませんね。

コラム お^せが^がき^き 餓鬼ってなに？



おじいさんやおばあさんがお盆やお彼岸の時期になるとお寺に「おせがき」に行ってくる」と出かけられることはありませんか？ 帰ってくるとお仏壇に新しいお^{とうば}塔婆がお供えしてある ... そんなところから何となく「お寺の行事かな」と推測されているかもしれません。もしかしたらお参りに参加したことがある方、また反対にこのコラムで初めて「おせがき」と言う言葉を知った方もいらっしゃるかもしれません。

漢字で書くと「お^{じゅうら}施餓鬼」と書きます。あらためて字面をみますと、あまり楽しそうではありませんよね。何となくおどろおどろしさまで感じてしまいます。お^{じゅうら}施餓鬼はこの冊子を発行している浄土宗西山深草派だけでなく日本中で（一部の宗派を除き）形式は変われど、盛んに行われている法要です。

^{くんどく}訓読すると「^{がき}餓鬼に^{きゅうぼつ}施す」という意味で、その由来は二つ、一つは救^{きゅう}拔^{ぼつ}えんく^{えんく}だら^{だら}に^{きょう}き^{ょう}ょうというお^{あなんそんじや}経の中に、お^{あなんそんじや}釈迦様のお弟子である阿難尊^{あなんそんじや}者が瞑想していると、餓鬼が現れ、阿難に向かって「お前は三日後に死んで、私のように醜



【餓鬼草紙 (国宝)】 京都国立博物館所蔵

い餓鬼に生まれ変わるだろう」と脅しました。驚いた阿難が、どうしたらその苦難を逃れられるかと餓鬼に尋ねたところ、餓鬼は「お前は自らが解脱することばかり求めているが、我らのような多くの苦しみの中で喘ぐ衆生や餓鬼に目を向けることがない。もっと足元を見つめその困苦の中で苦しむ者たちに食べ物や飲み物を施して供養しろ」と要求しました。困った阿難はお釈迦様に相談したところ、お釈迦様は多くの餓鬼へたくさんの供養が出来る秘法を阿難に授け、阿難はそれを実行して救われることができました。

またもう一つは「^{うらぼんきょう}孟蘭盆経」と言うお経で、これまたお釈迦様の弟子である目連尊者が、母の死後の様子が気になり神通力により亡き母の行方を探すとなんと餓鬼道に落ち苦しんでいる様子でした。目連がお釈迦様に助けを求めると「お前の母は子であるお前に執着するあまり他の者たちを顧みることなく何の施しも行わなかった。その罪はとても重くそのために餓鬼道に落ちてしまった。…もうすぐ多くの僧が九十日間の雨季の修行を終える。終わり次第、ご馳走を用意して経を読誦し心から供養しなさい。」と助言されました。目連が早速その通りにすると母親は餓鬼の苦しみから救われました。

施餓鬼法要はこの二つのお経の中の説話を起源として時代を経て現在のかたちとなったと言われています。

ところで、そもそも「餓鬼」ってなんなのでしょうか？人間が死後、生前の行



お施餓鬼会(法要)の様子

おさんあくいさんあくが悪いと墮おちるとされている三悪さんあく趣しゅ(地獄道じごくどう、餓鬼道がきどう、畜生道ちくしょうどう)、その内の一つ「餓鬼道」に墮ちた者は、常に飢えと渴きに苦しみ悩まされ、その姿はお腹が出て皮と骨ばかり。長い間食べ物について聞くことも見ることもできず、たとえ見たとしても食べることはできない。また食べようとして口にいとると炎となって激痛に襲われるそうです。なんとも恐ろしい限りですが、

考えてみると今生きている私たちの中にもそういった人がいるように思います。

何かにつけて足りないという人…どれだけお金を儲けてもまだ足りない、今よりもっと愛されたい、今よりもっと幸せになりたい、もっともっと…。確かにこのような感情や欲望は人間にとって普通のこととも言えますが、度が過ぎるとそれはもう餓鬼道に墮ちているのかもしれませんが。きっと私たちは、時には一度立ち止まり自身のことを振り返ってみるべきなのでしょう。

本当に大切なことは「今いる私達がすでに満たされている」ということです。この法要をきっかけとして自分の足場を見つめること、それに気づくこと、思い返すことが「お施餓鬼」の本当の意義かもしれません。

「ほとけほとけない」

バックナンバーのご紹介

- ◆お仏壇編 ～そもそもお仏壇って?～
- ◆お葬式編 ～めんどくさい!?～
- ◆お念仏編 ～馬の耳に念仏～
- ◆お参り編 ～お参りって何のため?～

※上記バックナンバーのお求めは右記の総本山誓願寺まで。

次号、

- ◆お浄土編 ～それってどんなところ?～

お楽しみに!

発行：浄土宗西山深草派

編集：浄土宗西山深草派
教学部 出版企画室

住所：〒604-8035
京都市中京区新京極桜之町453
総本山誓願寺宗務所内

メール：office_sk@fukakusa.or.jp

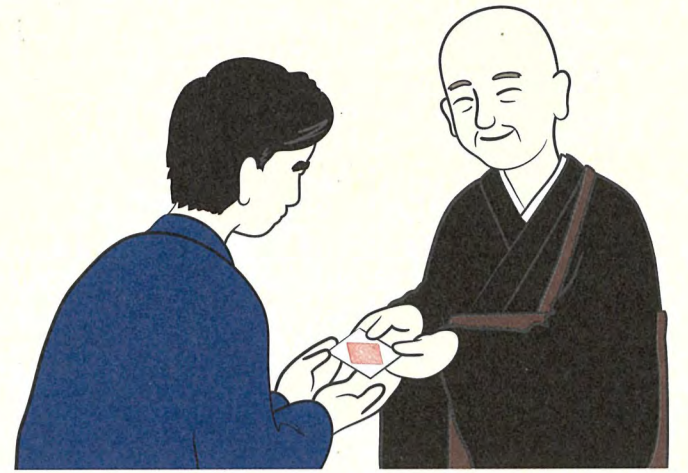
電話：075-221-0958

デザイン・イラスト

Moonlite Graphics 掛札 英敬



法要参詣ご朱印シート



※ お寺の法要にお参りして、「ご朱印シート」をもらって貼って下さい。

- ◆ このシートは最近巷で流行している「ご朱印帳」を模して企画いたしました。
- ◆ 各お寺で執り行われる法要にお参りいただいた際に1枚づつ配られる朱印シートを、ご朱印のハンコの代わりにこのシートのご朱印欄にお貼り下さい。
- ◆ ご朱印欄の日付はご自身でお書きください。(筆記具はなんでもOK!)

- ◆ シールを貼るご朱印欄の法要名とお参りされた法要は必ずしも一致しなくて構いません。
- ◆ 8枚全てのシールをお貼りいただけましたら総本山誓願寺「ほとけほとけないプレミア御朱印」をプレゼントします。(プレゼントは各旦那様様経由でお届けします。必ず旦那様様にお参りしてからお受け取り下さい。またいつの日か総本山誓願寺へも実際にお参りいただけましたら幸いです。)

奉 年 月 日
月参り

【月参り(つきまいり)】

亡くなられた方の命日にあわせ、お坊さんに来てもらいお経をあげてもらいます。月日は毎月ありますが、一年に一度亡くなられた当月は祥月命日と呼ばれ、特に丁寧な供養をいたします。その方を忘れないためにも、できるだけつづけたいものです。

奉 年 月 日
棚経

【棚経(たなごよう)】

お盆で里帰りされているご先祖様方のために各家でお盆棚をお祀りし、お坊さんにお経をあげてもらいます。一年に一度お盆棚の前で、みんな揃った元気な顔を見せてあげられれば、きつと喜んでもらえますね。

奉 年 月 日
除夜会
修正会

【除夜会(じよやえ)】
【修正会(しゆしやうえ)】

大晦日の除夜会の鐘の音は人間の百八の煩惱を清めます。また新年に執り行われる修正会は、旧年の感謝と懺悔をし新年の無事を祈ります。一年の始まりに仏様とご先祖様にご挨拶しましょう。正月は「正す月」、間違いを直し、自分自身を見つめなおすのも良いかもしれません。

奉 年 月 日
祖師忌

【祖師忌(そしじ)】

浄土宗を開かれた法然さまのご命日を「御忌」、わが宗派の流祖、西山上人のご命日を西山忌、また善導大師の善導忌などなど、さまざまなお祖師様方の徳を偲び、感謝の心で各寺院で執り行われる大切な法要です。

「ご朱印シート」を集めて
ほとけほとけない
プレミア御朱印
を
プレゼント♪



【応募方法】 8枚のシールを貼り終えたこのシートを写真に撮り、下記QRコードをスマホ等で読み取って、開かれたWEBサイトのお申込みフォームの応募要領に従ってお申し込みください。

QRコードが読み取れない場合は、直接

https://www.fukakusa.or.jp/sko_gosyuin.html

…のプレゼント応募申し込みフォームにアクセスしていただいてもご応募いただけます。



・ご応募は原則として上記の申込みフォームご利用下さい。旦那様へお問い合わせいただきましても対応できない場合がございます。どうしてもインターネット等のご利用が困難な場合、このシートと返送先をご明記のうえ、返送用140円切手を同封して下記住所まで郵便にてお送り下さい。(お送りいただいたシートはプレゼントと一緒に返送いたします。)

・送付先: 〒604-8035 京都市中京区新京極桜之町453 総本山誓願寺宗務所
・その他、ご不明な点がございましたらoffice_sk@fukakusa.or.jpまでメールにてお問合せ下さい。

奉 年 月 日
彼岸会

【彼岸会(ひがんえ)】

春と秋の年二回あります。お彼岸の中日(春分の日・秋分の日)は昼と夜の長さが同じになる一年の節目です。この節目に亡くなった方々に思いを馳せ会いに行く…、現代風に言えば「電話をかけるような心持ち」でお寺やお墓に行くなんて考えればお参りしやすくなりますね。

奉 年 月 日
年回供養

【年回供養(ねんかいこうじやう)】

亡くなった方を供養する大切な法要で、「お年忌」とも呼ばれます。お葬式の翌年が一周忌、その翌年が三回忌、その後は、七回忌、十三回忌、と三と七がつく年ごとに法要を営みます。残された私たちがその方々を想う大切な機会です。できる限りお勤めしたいものです。

奉 年 月 日
ご縁日

【ご縁日(ごえんじち)】

観音さま、お地蔵さま、お薬師さま、弘法大師などなど、皆さんに身近な仏様方には毎月ご縁日があります。各地のお寺ではそれぞれ所縁あるそんな仏様方の縁日法要を、毎月もしくは年に一度お勤めされています。ぜひお参りしてその仏様方との「ご縁」を深めてください。

奉 年 月 日
盆供養

【盆供養(ぼんこうじやう)】

お盆には先に亡くなられた方々やご先祖様がおり帰りに戻ってこられます。各お寺ではお施餓鬼などの法要を営み、その方々をお迎えます。家で待っているだけじゃなく、お寺と一緒に迎えませんか?